

認定こども園いぶきのPreSchool自己評価

実施日令和7年3月1日

1, 園運営の基本

▲考慮する △やや考慮する ○良好

項目		内容	自己評価
サービスの質の確保	人材育成	職員全員が参加する会議を(職員会議など)を定期的の実施している	○
		非常勤職員にも日々の保育に必要な情報が伝わる仕組みがある	○
		各職員に、適切な研修が確保されている	○
		定期的に園内研修を行っている	○
	指導助言	園に指導助言を行う職員がいる	○
		園長は、指導助言を求めてきた職員への対応経過を把握している	○
		専門職の指導を受ける機会がある	○
		指導助言の中で得られた解決策は日々の保育に生かされている	○
	個人情報	保管場所・保管方法を統一し情報の漏洩・放置・流出を防ぐ手段を講じている	○
		業務の中で知り得た園児等に関する情報は流出しないよう全職員に周知している	○
		園児に関する情報は個別且つ一元的に管理され必要なときすぐ見ることができる	○
		園長は、職員が作成した書類を定期的に確認している	○

2, 子どもの発達援助

項目		内容	自己評価
発達援助の基本	全体的な指導計画	全体的な計画は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の趣旨をとらえ作成している	○
		保育過程・年間計画は、適宜見直している。	○
		計画における具体的なねらいや内容は発達過程や年齢個人差を踏まえている	○
		評価及び見直しの結果は、次の計画の作成に活かしている	○
		園長・主幹は、指導計画の評価及び見直しに当たり適宜指導を行っている	○
	理解と受容	職員は常に園児が安心して自分の気持ちを表現できるような態度で対応している	○
		園児の要求や質問に対し何を求めているかを理解し適切に対応している	○
		むやみに急かす言葉、制止、禁止の言葉を必要以上に用いないようにしている	○
	の固定観念の配慮	遊びや行事などで持ち物服装等で性別による押し付けをしないように配慮している	○
		順番・グループ分け、整列などは、性別にしていない	○
健康管理	把握健康状態の	保護者への感染症の予防及び対応について周知している	○
		子ども一人一人健康状態に関する情報が職員に周知されている	○
		子どもの体調悪化・怪我などについて留意して保護者に伝えている	○
	食事環境	子どもが落ち着いて楽しく食事ができるように環境を工夫している	○
		発達に合わせた食事の援助を適切に行いマナーが身に付くよう配慮している	○
		食べたいものや食べられるものが少しでも多くなるように援助している	○
		食事に特別な配慮を必要とする園児に対しても食事が楽しめるようにしている	○

食 事		職員は、アレルギー疾患について必要な知識や情報が周知・共有されている	○
		職員は、子どもの食べる量や好き嫌いを把握している	○
	食育	食事の提供を含めた「食育計画」を策定している	○
		地域の様々な食文化について興味関心が持てるよう配慮している	○
		食材量の育成食事にかかわる方々への感謝や命の大切さについて働きかけている	○
		子ども達が調理場を見たり言葉が交わせるような場面がある	○
		食べ物・料理の好き嫌いがある園児に無理強いしない	○
	家庭との連携	保護者に対して発育期にある園児の食事の重要性や取り組みについて伝えている	○
		その日の献立や量を写真で保護者に伝えている	○
		食についての保護者からの相談には、内容にふさわしい職員が対応している	○
保育環境	空間確保	室内の温度・湿度・換気・採光・音などの環境は常に適切に配慮されている	○
		室内外の設備・用具の衛生管理に努めている	○
		本を読んだり絵をかいいたり創作活動が自由にできるスペースがある	○
		季節の移り変わりが感じられるような環境がある	○
	環境整備	子どもが自由に遊ぶ時間が確保されている	○
		好きな遊びができる環境が整えられている	○
		職員全員が子どもの字はS津製を発揮できるような働きかけをするよう心掛けている	○
		子どもの発達段階に即した玩具や遊具が検討され用意されている	○
保育内容	社会的規律	職員は常に公平で温かい態度や言葉遣いで子どもに接し信頼関係を築いている	○
		順番を守る等社会の社会的ルールを身につけるように配慮している	○
		当番活動などが日常生活の中で行われている	○
		一人一人の子どもの自主性を尊重し家庭と連携しながら状況に応じた対応をしている	○
		地域の公共機関を利用するなど社会体験が得られる機会を設けている	○
	表現活動	身近な自然と関わる機会を作り子どもの様々な興味を引き出すようにしている	○
		生活や遊びを通して数・量の感覚が身につくよう工夫している	○
		身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている	○
		クレパス、絵の具、紙などの素材は子どもが自由に選択できるよう複数用意している	○
		絵本の読み聞かせ、お話、紙芝居などを日常的に取り入れている	○
	人間関係	職員は、子ども同士の関係をよりよくするような言葉がけをしている	○
		ケンカの場合では配慮しながら子ども同士で解決できるように援助している	○
		朝や帰りの挨拶等は、日常的に職員から子どもに働きかけて言葉がけをしている	○

3, 子育て支援

項目		内容	自己評価
	信頼関係の構築	入園前に生活歴や家庭での状況等把握している	○
		送迎時必要に応じて園での子どもの様子、体調などを伝えている	○
		保育参観を行うなどして保護者と共通理解を得る機会を設けている	○
		保護者の意向に応じて個別面談を行っている	○
	保護者、	れんらくアプリを活用し子どもの様子、家庭のことなど情報共有している	○
		れんらくアプリで保護者の保育方針の理解度、保育ニーズを把握している	○

保護者 支援	との 連携	園だより、クラスつうしん等により保育や行事についての意図を伝えている	○
		欠席に関しては、連絡がなければ連絡を取り確認している	○
	相談・ 情報	保護者からの相談に関しては、適宜時間を設け応じている	○
		必要に応じて地域貢献委員が対応し行政機関とつなげている	○
		相談内容は、記録し適切に保管している	○
		相談後も、担当者が様子を確認しながら必要に応じてフォローしていく	○
	養育 支援	子どもの心身の状態を観察、把握し必要に応じて記録している	○
		不適切な養育の可能性があると感じた時は速やかに園内で情報共有し対応を協議する	○
		園内での対応協議の結果必要に応じて関係機関に通報している	○
	虐待 への 対応	虐待を発見した場合は、速やかに市の担当者、子ども家庭センターに通報している	○
		クラスでの虐待の気づきは速やかに園長、主幹に届く体制になっている	○
		保育教諭は、日頃から子ども達の様子や怪我・痣に留意し早期発見に努めている	○
		保育教諭は、気になる怪我や痣を発見したら写真、文言で記録する	○

4、子どもの安全

項目		内容	自己評価
安全・ 事故 防止	食中 毒・ 感 染 症 対 策	職員に対して食中毒・感染症予防に関する内容は周知されている	○
		子どもに対して食中毒・感染症予防に関する教育を行っている	○
		保護者に対して食中毒・感染予防に関する啓発を行っている	○
	対事 事故	職員は、救急救命法について研修を受講している	○
		園内で起きたヒヤリハット事例を会議で話し合い再発防止に取り組んでいる	○
	不審 者 対 策	不審者などの侵入防止策が講じられている	○
		不審者対応マニュアルは職員に周知されている	○
		警察や警備会社等との連携の下で、マニュアルに基づく訓練が行われている	○
		不審者情報が、関係機関などから得られるネットワークがある	○

5、地域とのかかわり

項目		内容	自己評価
連携 関係 機関・ 地域 との	連携 協力	障がいや発達上の課題が見られる場合、市担当と連携し情報交換をする	○
		発達上の課題が見られる子どもの保護者等には市担当との情報をもとに支援している	○
		地域の小学校とスタートカリキュラムや情報交換など連携している	○
		要保護児童の早期発見や保護に協力している	○
	地域 の 支 援	園を利用していない子育て家庭からの相談に応じている	○
		体験保育、園見学などを行っている	○
		未入園、未就園児の一時預かりを行っている	○